

ビッググラフと最適化

文部科学省委託事業「数学協働プログラム」では、諸科学・産業側からのニーズのある数学・数理科学の特定のテーマを選定しチュートリアルセミナーを開催しています。今回は、数理の専門家以外の方を対象に、ビッグデータビジネスの概論から、グラフ理論や離散数学、最適化の数理と実際についてわかりやすくお話しいただきます。

PROGRAM

ビッグデータ解析に機械学習技術は有用か？

NTTコミュニケーション科学基礎研究所 上田 修功
機械学習・データ科学センタ代表

下流から攻めるビッグデータ

統計数理研究所長 樋口 知之

巨大グラフ:数学的解析と高速アルゴリズム

国立情報学研究所 情報学プリンシプル研究系 教授 河原林 健一

次世代スーパーコンピュータ技術を用いた 超大規模グラフ解析と実社会への応用

中央大学 理工学部 経営システム工学科 教授 藤澤 克樹

大規模な組合せ最適化問題に対する発見的解法

大阪大学 大学院 情報科学研究科 情報数理学専攻 准教授 梅谷 俊治

SCIP Optimization Suite によるシュタイナー木問題の解法

Zuse-Institut Berlin 研究員・統計数理研究所 客員准教授 品野 勇治

入場無料

参加は事前申込み制です。
以下のURLからお申し込み
ください。

<http://coop-math.jpn.org/>

QRコード



平成26年

3月12日

10:00~16:35

統計数理研究所
総合研究棟2階 大会議室

